KONICA MINOLTA

適用機種：販売モデルは地域により異なります。

カラー機（CL）	C14010シリーズ、C5080シリーズ、C8100シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド - No. 13 -

インテリジェントメディアセンサー IM-101 & IM-104/105

Ver. 03.00

目次

1 メディアセンサーとは

2 IM-101の使い方

3 IM-104/105の使い方

4 こんなときは

5 製品仕様





1 メディアセンサーとは

1-1. メディアセンサーとは

センサーに用紙を挿入することで用紙の種類や坪量などを自動的に検知するオプションを指します。
オフラインで測定するIM-101と、インラインで測定するIM-104/105があります。
本機は印刷をする前に使用する用紙の種類や坪量などを設定する必要がありますが、これらをメディアセンサーで検知することで設定の省力化や不適切な設定に起因する不具合を軽減できます。

1-2. メディアセンサーの機能

本冊であつかうメディアセンサー、IM-101、IM-104、IM-105の主な機能は以下です。

		IM-101	IM-104	IM-105
用紙の自動検出	用紙種類	◎	◎	×
	坪量	◎	◎	×
	用紙サイズ *1	×	×	◎
	用紙プロファイル候補表示	◎	◎	×
	エキスパート調整項目設定	×	◎	×
用紙まちがい検知		×	◎	×
用紙サイズばらつき補正		×	×	◎

*1：デフォルトでは用紙設定には設定できません

MEMO

2 IM-101の使い方

2-1. IM-101の概要

手動で用紙をセンサー部に挿入して測定する、卓上型のメディアセンサーです。
本体が印刷動作中でも、用紙の測定が可能です。



2-1-1. 使用上の注意

故障を避けるために、以下をお願いします。

- IM-101の**上に物を置かないこと**。
- **落下する恐れがある場所に置かないこと**（付属のワイヤーで落下防止をすること）。
- **直射日光が当たる場所に置かないこと**。

2-1-2. IM-101の状態確認

IM-101の状態は、状態表示ランプで確認できます。



状態表示ランプ

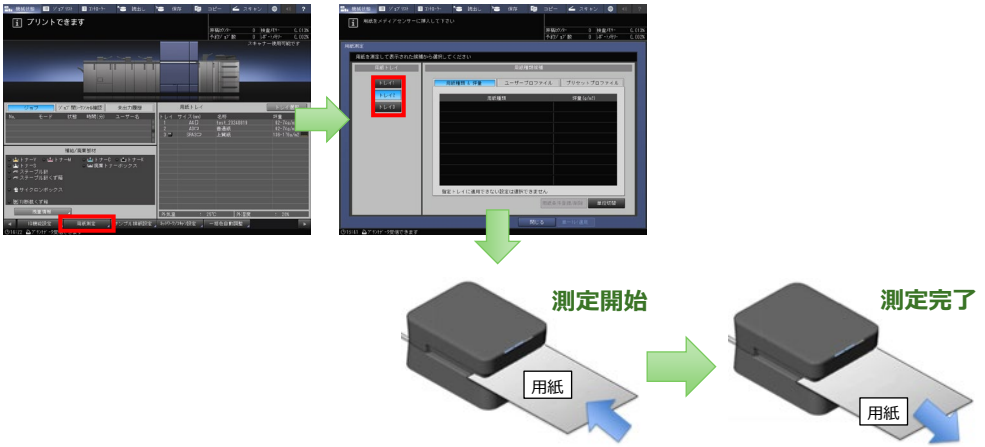
左ランプ POWER：電源状態	中央ランプ READY：動作状態	右ランプ ERROR：エラー
青色点灯：通電状態	青色点灯：測定可能	橙色点灯：エラー発生
消灯：非通電状態	黄緑色点灯：測定中	消灯：正常

2 IM-101の使い方

2-2. 測定結果をトレイに設定する

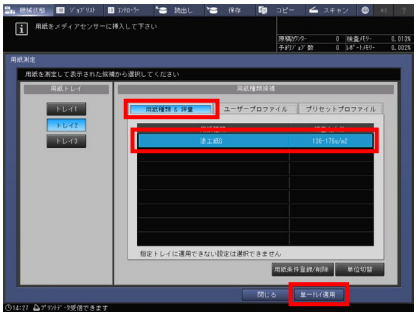
メディアセンサーで検知した用紙の種類や坪量をトレイの[用紙設定]に設定します。

1. 機械状態ファンクションキーの[用紙測定]を押します。IM-101が接続されている場合に表示されます。
2. トレイを選択し、測定したい用紙をIM-101に挿入します。測定完了後、用紙を引き出してください。



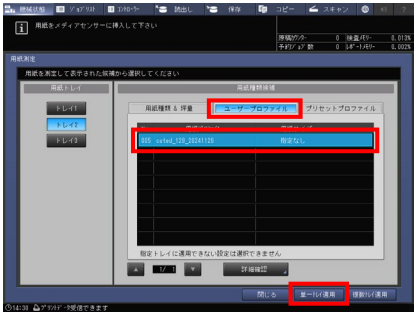
2-2-1. 測定結果をそのまま適用する場合

3. [用紙種類&坪量]タブに表示された候補から選択し[単一トレイ適用]を押してトレイに設定します。



2-2-2. 本機に登録済みの用紙プロファイルを適用する場合

4. [ユーザープロファイル]または[プリセットプロファイル]タブに測定結果に近い用紙プロファイルが候補として表示されます。
5. 確認後、用紙プロファイルを選択して[単一トレイ適用]を押します。

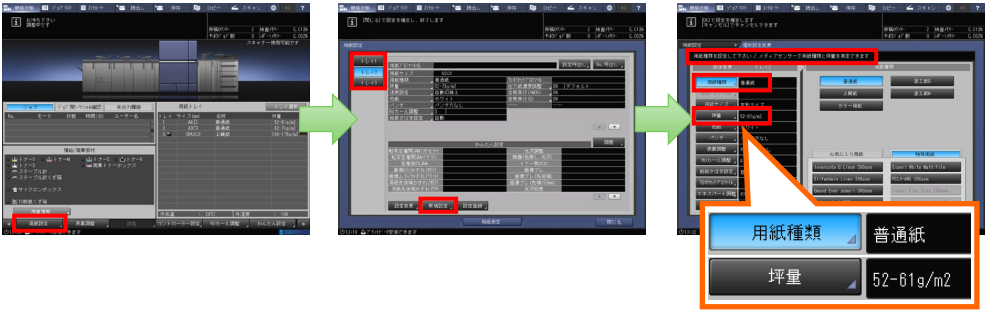


2 IM-101の使い方

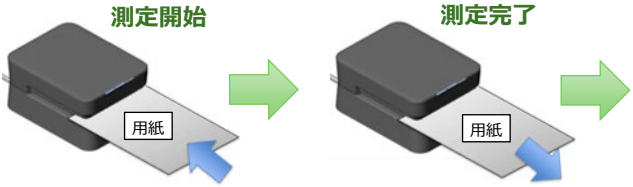
2-3. 用紙測定によるプロファイル登録

新しい用紙を測定して、短時間で用紙プロファイルを登録できます。

1. [用紙設定]を押します。トレイを選択し、[新規設定]を押します。
   個別設定変更画面に「用紙種類を設定して下さい。メディアセンサーで用紙種類と坪量を測定できます」が表示されます。

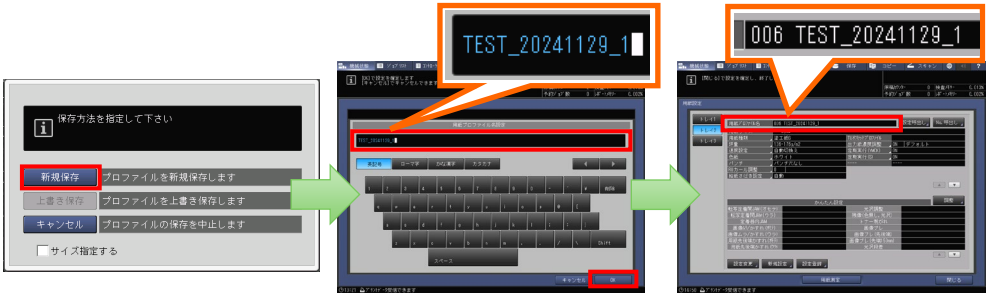


2. 測定したい用紙をIM-101に挿入します。測定完了後、用紙を引き抜いてください。
3. 測定結果（用紙種類と坪量）が個別設定変更に反映されます。
4. 問題なければ[登録＆OK]を押します。





5. [新規保存]を押して、新規プロファイルの名前を入力し、[OK]を押します。
   測定結果が反映された新しい用紙プロファイルが登録されます。



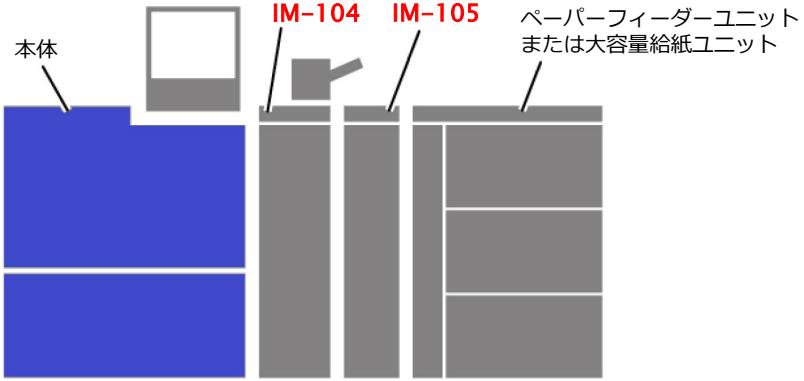
MEMO

3 IM-104/105の使い方

3-1. IM-104/105の概要

IM-104/105は本体とペーパーフィーダーユニットまたは大容量給紙ユニットの間に接続するインライン型のメディアセンサーで、印刷中にトレイから給紙される用紙を自動で測定することができます。本体のトレイでは機能しません。

- IM-104：用紙種類、坪量を測定します。IM-101より機能が強化されました。
- IM-105：用紙サイズを測定します。IM-105を接続するにはIM-104が必要です。



次に、IM-104/105の機能について、説明します。

3-2. 自動用紙判定

- メディアセンサーで測定した用紙種類、坪量、用紙サイズをトレイに設定できます。
  また、手動では設定が難しかったエキスパート調整の項目を自動的に設定できます。
- 登録済みの用紙プロファイルから候補がリストアップされます。

3-2-1. [用紙測定]をする

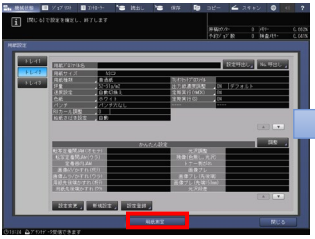
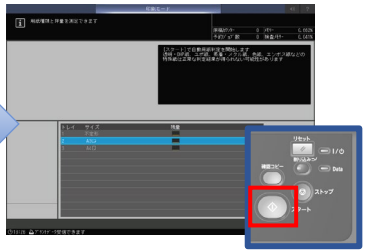
1. 使用する用紙をトレイにセットし、[用紙設定]を押します。
2. トレイを選択し、[設定変更]を押します。
3. [リセット]を押し、現在の設定内容をデフォルトに戻します。
   不定形サイズを使用するときは、測定の前に不定形のサイズを設定してください。
   [OK]を押して[用紙設定]画面に戻ります。



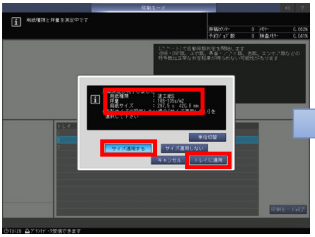
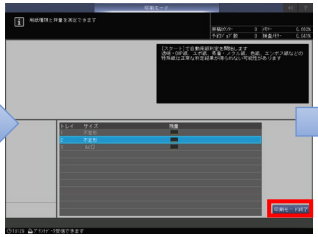
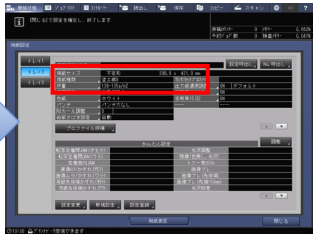
3 IM-104/105の使い方

3-2. 自動用紙判定（続き）

4. [用紙測定]を押します。[印刷モード]画面に「用紙種類と坪量を測定できます」のメッセージが表示されたら[スタート]ボタンを押します。
5. 用紙が測定され、IM-104のトレイに用紙が排出されます。

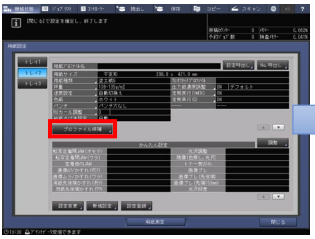
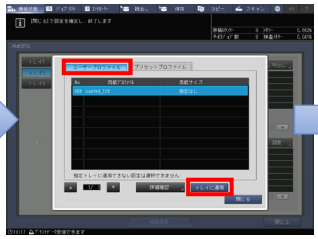
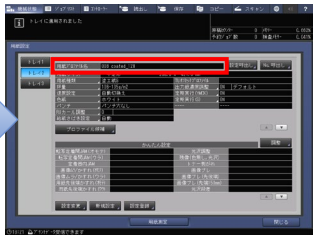




6. 表示された用紙種類、坪量、用紙サイズを確認します。用紙サイズを適用する場合は[サイズ適用する]を選択してください。不定形サイズとして設定されます（※）。問題なければ[トレイに適用]を押します。
   ※定形サイズとして設定したい場合は[サイズ適用しない]を選択してください。
7. [印刷モード終了]を押します。
8. トレイに測定結果が適用されたことを確認します。

3-2-2. 本機に登録済みの用紙プロファイルを適用する場合

9. 手順8.の[用紙設定]画面に表示された[プロファイル候補]を押します。
10. [ユーザープロファイル]または[プリセットプロファイル]に測定結果に近い用紙プロファイルが候補として表示されます。候補から選択し、[トレイに適用]を押します。
11. 選択した用紙プロファイルがトレイに適用されたことを確認します。

3-3. 用紙間違い検知

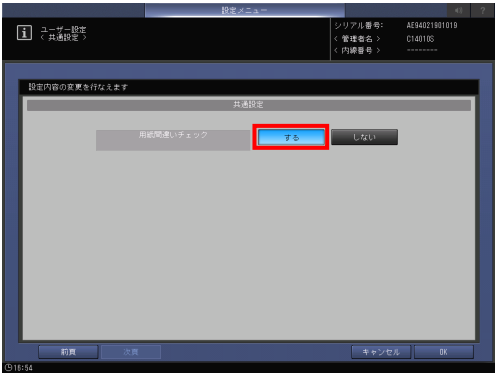
連続印刷中にペーパーフィーダーユニットまたは大容量給紙ユニットから給紙された用紙を測定し、用紙がトレイの設定と一致しているかを自動で検知する機能です。
用紙がトレイの設定と異なる場合、その用紙と後続の搬送中の用紙をRU-518mのサブトレイにパージし、印刷を停止します。



この機能を使用するには、以下の条件が必要です。

✓ 以下のいずれかの設定画面の[用紙間違いチェック]が[する]になっていること
- [ユーザー設定]-[共通設定]
- [管理者設定]-[共通設定]
- [機械状態ファンクションキー]-[IQ機能設定]（IQ-601接続で表示）

✓ パージトレイとしてRU-518mが接続されていること



さらに以下の設定をすることで、用紙間違い検知をする／しないをトレイごとに設定できます。

✓ [用紙設定]-[設定変更]-[エキスパート調整]-[用紙間違いチェック]
- [共通設定に従う]：用紙間違い検知をする
- [しない]：このトレイでは用紙間違い検知をしない

3-4. 用紙サイズばらつき補正

印刷中の用紙サイズのばらつきをIM-105で検出し、IQ-601を用いた表裏調整においてサイズのばらつきで生じるウラ面の画像位置のズレを補正し、表裏を一致させる機能です。

IQ-601を用いた表裏調整

- [表裏調整]-[自動測定]
- 用紙に印刷された調整用トンボの位置をIQ-601でオモテ面、ウラ面同時に測定し、結果を本体にフィードバックして印刷倍率や印刷位置を調整することで表裏を一致させる機能です。
- 詳しくは「OQG No. 07冊」をご覧ください。

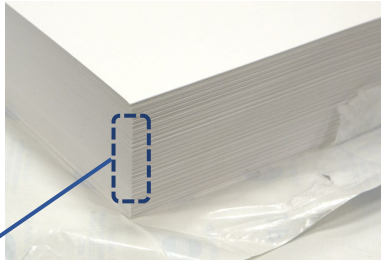


3-4-1. 用紙サイズばらつきとは

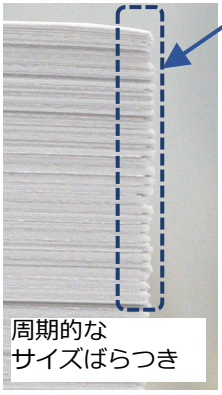
用紙の断裁精度によって用紙のサイズ（長さ）が均一でない状態を指します。
同一パッケージの用紙束であっても用紙のサイズが微妙に異なる場合があります。



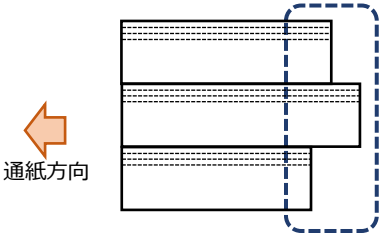
開封前



開封直後



周期的な
サイズばらつき

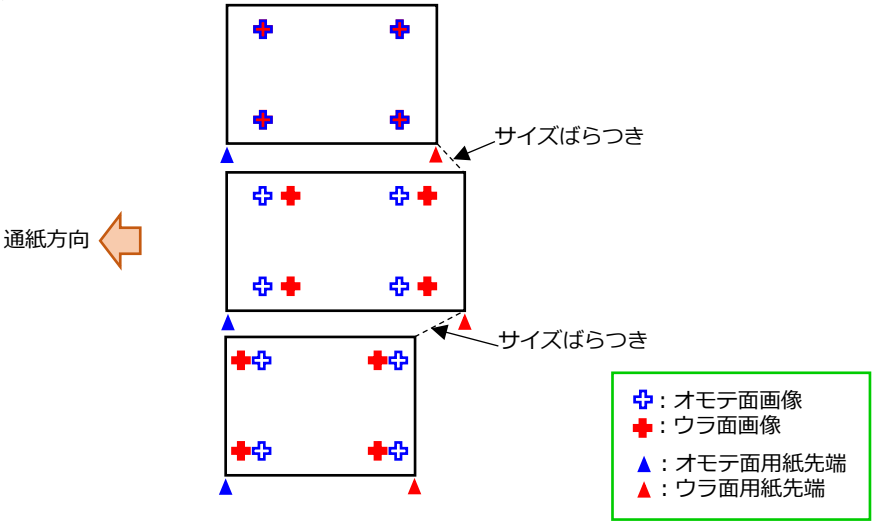


トレイ内のばらつきがある用紙束を
マシン正面からみたイメージ図

3-4. 用紙サイズばらつき補正（続き）

3-4-2. IQ-601を用いた表裏調整における用紙ばらつきの影響

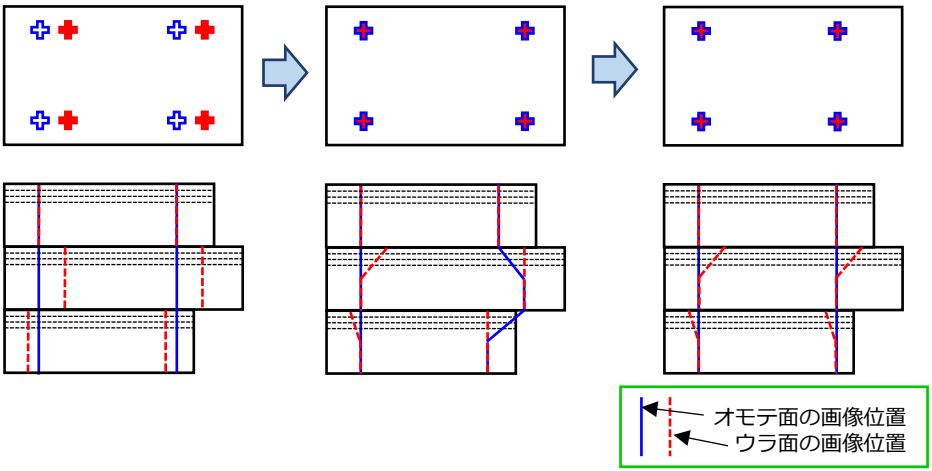
用紙サイズがばらつくと、用紙先端を基準に作像されるオモテ面とウラ面の画像位置もばらつきます。



1. IQ-601を用いた表裏調整を実施しない場合。
表裏の画像位置は一致しない

2. IQ-601を用いた表裏調整を実施した場合。
表裏の画像位置ズレは徐々に解消するが倍率は用紙サイズに応じて変化する

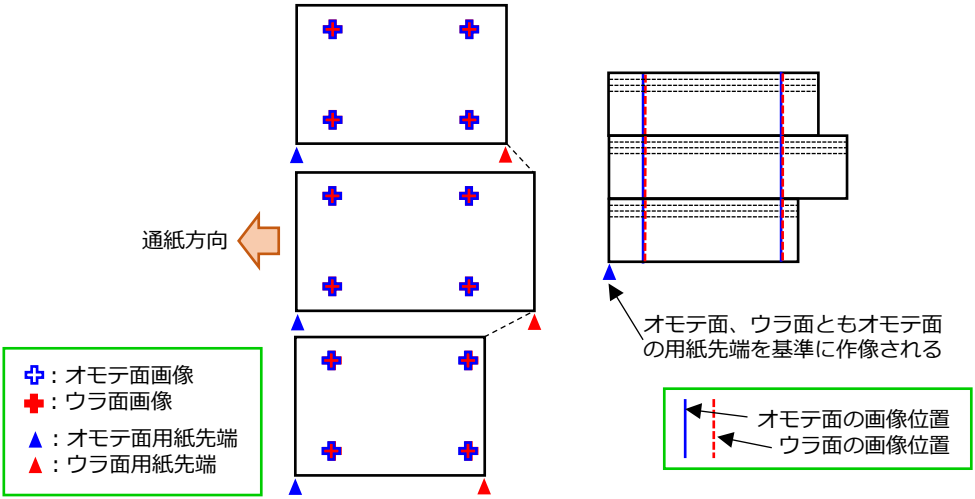
3. IQ-601を用いた表裏調整（オモテ面倍率を固定）を実施した場合。
表裏の画像位置ズレは徐々に解消し倍率は変化しない



3-4. 用紙サイズばらつき補正（続き）

3-4-3. 用紙サイズばらつき補正の効果

用紙サイズばらつき補正を実施すると、IM-105での用紙サイズの測定結果がフィードバックされウラ面の作像位置が補正されるため、サイズのばらつきによる表裏の画像位置ズレやIQ-601を用いた表裏調整での画像倍率の変化が発生しません。



3-4. 用紙サイズばらつき補正（続き）

3-4-4. 用紙サイズばらつき補正の設定方法

1. [表裏調整]-[自動測定]で[ばらつき補正]を押します。



2. [用紙サイズばらつき補正]の[ON]を押します。



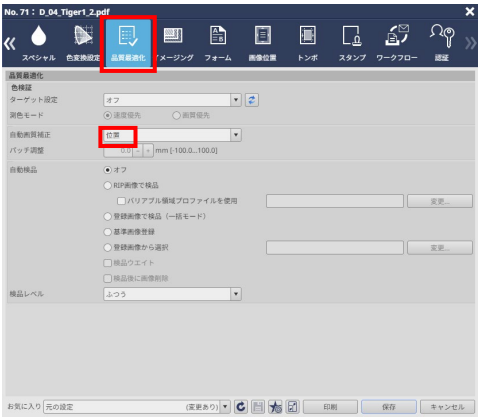
3. [自動測定]画面に戻り[印刷モード]を押し、チャートを印刷します。
ばらつきを検出するための用紙サイズ基準値が登録されます。

4. オモテ面の倍率を固定して用紙サイズばらつき補正を有効にする場合は、[ユーザー設定]-[環境設定]-[表裏調整動作切替え設定]を以下のように設定します。

- [画像基準位置(通紙方向)]：[先端]
- [画像基準位置(通紙交差方向)]：[手前側]



5. ジョブ印刷中に自動的に表裏調整を実施する場合は、PS Plug-in ドライバーまたはAccurioPro Print Manager で[自動画質補正]を[位置]または[位置/階調]に設定します。



AccurioPro Print Managerの場合

3-5. 給紙JAMパージ機能

給紙JAMパージ機能について

給紙ユニットが用紙の重送を検知した場合に、重送紙をIM-104のトレイに排出する機能です。重送紙が本体内でJAMになることを未然に防止します。

給紙JAMリカバリー機能について

給紙リカバリーを実施することで、ジョブを停止せずに継続することができます。
ただしリカバリーの実施回数が設定を超えた場合は機械は停止します。
この機能を使用するには、以下の設定が[する]になっている必要があります。

✓ [管理者設定]-[環境設定]-[エキスパート調整]-[プリンター調整]
-[プリントジョブJAM設定]-[給紙JAMリカバリー]



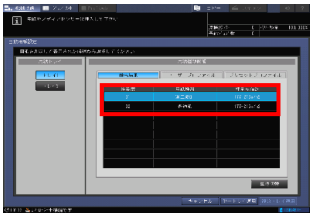
参考： C140010シリーズの場合

重送パージ機能には以下の制約条件があります。これらの条件以外の場合はパージせずに機械は停止します。

	パージ可能な条件		
坪量	350g/m^2以下		
用紙サイズ （ヨコ：通紙方向）	PFU1連目/2連目	上/中段トレイ	290mm以上
		下段トレイ	制限なし
	PFU3連目	上段トレイ	430mm以上
		中段トレイ	310mm以上
		下段トレイ	制限なし
重送紙同士の 先端ズレ量	20mm以下		

4 こんなときは

Q1. 用紙測定後、候補が複数表示されたとき、どちらを選べば良いのか？



■ 対応策

① 用紙の銘柄が分かる場合

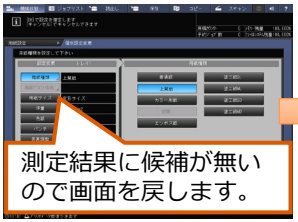
・ 銘柄に合った候補を選んで下さい。

② 用紙の銘柄が分からない場合

・ 第1候補を選んで下さい。

③ 用紙の銘柄は分かるが、候補が表示されていない場合

1. 表示された複数候補をどれか一つを仮選択します。（任意）
2. 用紙設定の個別設定画面に戻り、用紙の銘柄からマニュアル入力で用紙種類/坪量などを設定します。



測定結果に候補が無いので画面を戻します。



用紙の銘柄から用紙種類/坪量をマニュアルで入力します。

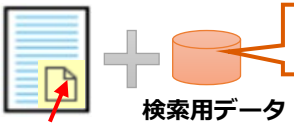
但しマニュアルで設定を変更した場合、その用紙プロファイルはメディアセンサーでの検索で表示されなくなります。その理由はQ2を参照してください。

Q2. 登録した用紙プロファイルが、用紙測定しても候補として表示されない場合

登録した用紙プロファイルの用紙種類/坪量が、手動で変更された可能性があります。

■ 登録した用紙プロファイルが表示されない理由

用紙プロファイル



用紙種類/坪量

検索用データ

用紙測定で得た（紐付けた）「**検索用データ**」を元に、用紙プロファイルを検索しています。

用紙プロファイルの「用紙種類/坪量」を手動で変更

用紙プロファイル



手動変更された用紙種類/坪量

検索用データ

・ 用紙測定で得た検索用データが削除されます。
・ この状態で用紙測定によるプロファイル検索を行っても、検索用データが無いので、候補となる用紙プロファイルが表示されません。

■ 対応策

新規に用紙測定を行い、用紙プロファイル登録して下さい。
ただしエンボス紙などの一部の特殊な用紙は、メディアセンサーで正しく測定できません。

Q3. 登録した用紙プロファイルをエクスポート/インポートできるのか？
同じシリーズなら、USBメモリで用紙プロファイルをエクスポート/インポート可能です。
異なるシリーズ間ではエクスポート/インポートできません。

例）C14010 ⇔ C12010S ：エクスポート/インポート可
C5080 ⇔ C4080 ：エクスポート/インポート不可

5 製品仕様

	IM-101
大きさ	幅　：140mm / 5.51″ 奥行：183mm / 7.2″ 高さ：　94mm / 3.7″
重さ	1.1kg / 2.43lb
電源	DC24V、5V（本体から供給）
通信 インターフェース	USB 2.0
測定枚数	1枚/1回
測定結果の分類 （用紙種類）	測定結果を元に、以下4種類のいずれかに用紙を分類します。 ・普通紙 ・上質紙 ・塗工紙（光沢紙） ・塗工紙（マット紙）
測定結果の分類 （坪量）	坪量は、接続している本体の坪量区分に従って分類します。
注意事項	1.　以下の用紙は測定できません。 ・エンボス紙（表面がデコボコしている用紙） ・特殊紙（紙パルプ基材でないシート材など） ・白以外の色紙 ・変形している用紙（折れ・波打ち） ・汚れている用紙（印字画像含む） ・傷や穴がある用紙 ・ノーカーボン用紙 ・片面だけがミラー加工（片面キャストコート）の用紙 ⇒どちらの面を測定するかで結果が変わります。 2. 紙目は測定できません。

5 製品仕様

		IM-104	IM-105
大きさ		幅　：　253mm /　9.96” 奥行：　772mm / 30.39” 高さ：1262mm / 40.69”	幅　：177mm /　6.97” 奥行：772mm / 30.39” 高さ：968mm / 38.11”
重さ		84kg / 185.19lb	40kg / 88.18lb
電源		AC 100 ~ 240V、50/60Hz （電源コードから供給） DC 24V、12V （本体から供給）	AC 100 ~ 240V、50/60Hz （IM-104から供給） DC 36V、24V、12V、5V （IM-104から供給）
最大消費電力		900W以下	100W以下
通紙可能な	用紙サイズ	タテ：100 ~ 330.2mm / 3.94 ~ 13” ヨコ：139.7 ~ 1300mm / 5.5 ~ 51.18” ただし487.7mm / 19.20”以上は用紙ばらつき補正不可	
	坪量	52 ~ 450g/m^2（ストレート通紙、メディア検知排紙時）	
	剛度	1000以下（ストレート通紙、メディア検知排紙時）	
	用紙種類	本体に準ずる ただし透明／半透明紙、合成樹脂シート、金属蒸着シート、色紙は自動用紙判定不可	普通紙、上質紙、カラー用紙（黒紙含む）、塗工紙、封筒、インデックス紙、エンボス紙 ただし透明紙は用紙ばらつき補正不可
測定結果の分類	用紙種類	測定結果を元に、以下4種類のいずれかに用紙を分類します。 ・普通紙 ・上質紙 ・塗工紙（光沢紙） ・塗工紙（マット紙）	–
	坪量	坪量は、接続している本体の坪量区分に従って分類します。	–

MEMO

© 2025 KONICA MINOLTA, INC.